

日本学術会議活動状況報告

会長報告資料

日本学術会議活動状況報告

令和5年7月16日

前回（第187回）総会以降の活動状況報告

第1 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
4月17日（月） ～18日（火）	日本学術会議第187回総会	梶田会長 望月副会長 菱田副会長 高村副会長 小林アドバイザー
4月18日（火）	記者会見	梶田会長 望月副会長 菱田副会長 高村副会長 小林アドバイザー
4月27日（木）	T7 JAPAN サミット	高村副会長
4月27日（木）	オランダ王国大使館大使主催ナショナルデー・レセプション	菱田副会長
5月9日（火）	駐日欧州連合代表部ヨーロッパ・デー	梶田会長
5月10日（水）	第1回国際研究皮膚科学会開会式	菱田副会長
5月12日（金）	公開シンポジウム「カーボンニュートラル時代の熱エネルギー－革新議論と社会実装－」	菱田副会長
5月23日（火）	日本私立大学協会と意見交換	梶田会長 菱田副会長 小林アドバイザー
5月25日（木）	記者会見	梶田会長 望月副会長 菱田副会長

		高村副会長 小林アドバイザー
6月4日(日)	公開シンポジウム「人間・AI 共創時代における価値創造経営教育」	高村副会長
6月7日(水)	国立研究開発法人協議会と意見交換	菱田副会長 小林アドバイザー
6月13日(火)	一般社団法人公立大学協会と意見交換(オンライン)	菱田副会長 小林アドバイザー
6月20日(火)	アルジェリア大使表敬訪問	梶田会長 高村副会長
6月22日(木)	日本科学振興財団評議委員会	梶田会長
6月22日(木)	チャールズ3世戴冠祝賀会	梶田会長
6月22日(木)	国際がんサポーターズケア学会 2023 開会式	高村副会長
6月26日(月) ~27日(火)	学術フォーラム「オープンサイエンス、データ駆動型研究が変える科学と社会ーG7コミュニケを読み解く」	菱田副会長
6月29日(木)	記者会見	梶田会長 望月副会長 菱田副会長 高村副会長 小林アドバイザー
6月30日(金)	Future Earth 総会(オンライン)	高村副会長
7月2日(日)	学術フォーラム「2040年の科学・学術と社会を見据えて取り組むべき10の課題~イノベーション・越境研究・地域連携・国際連携・人材育成・研究環境~」	梶田会長 望月副会長
7月7日(金)	日本学術会議中部地区学術講演会「食と健康の最前線」	梶田会長
7月9日(日)	学術フォーラム「欧州とアジアの地域紛争をめぐる平和的解決と、世界経済の行方ー学術共同の観点からー」	梶田会長
7月9日(日)	第22回国際自動制御連盟世界大会開会式	梶田会長

第2 会長談話・会長メッセージ

次の会長談話及び会長メッセージを公表した。

- 1 日本学術会議会長メッセージ「学術の発展とより良い役割発揮のために、広く関係者を交えた開かれた協議の場を」

(令和5年4月27日公表)

- 2 日本学術会議会長談話「Toward achieving gender equality in academia and society」

(令和5年6月16日公表)

第3 提言等の承認

○勸告

日本学術会議

「日本学術会議のあり方の見直しについて」

(令和5年4月18日公表)

○声明

日本学術会議

「説明」ではなく「対話」を、「拙速な法改正」ではなく「開かれた協議の場」を」

(令和5年4月18日公表)

○見解

自動運転の社会実装と次世代モビリティによる社会デザイン検討委員会

「自動運転における倫理・法律・社会的課題」

(令和5年5月26日公表)

○報告

統合生物学委員会・基礎生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会
合同総合微生物科学分科会、臨床医学委員会臨床研究分科会、健康・生活科学委員会・
基礎医学委員会合同パブリックヘルス科学分科会

「感染症パンデミックに対するわが国の平時・緊急時の臨床・疫学・基礎研究の現状と課題」

(令和5年6月16日公表)

農学委員会植物保護科学分科会

「外来害虫・病原体・雑草による作物生産被害の現状と対策」

(令和5年6月23日公表)

第4 学術フォーラム

- 1 日本学術会議主催学術フォーラム「オープンサイエンス、データ駆動型研究が変える科学と社会ーG7コミュニケを読み解く」を令和5年6月26日（月）～27日（火）に日本学術会議講堂（オンライン併用）にて開催した。
- 2 日本学術会議主催学術フォーラム「2040年の科学・学術と社会を見据えて取り組むべき10の課題～イノベーション・越境研究・地域連携・国際連携・人材育成・研究環境～」を令和5年7月2日（日）に日本学術会議講堂（オンライン併用）にて開催した。
- 3 日本学術会議主催学術フォーラム「関東大震災100年と防災減災科学」を令和5年7月8日（土）に日本学術会議講堂（オンライン併用）にて開催した。
- 4 日本学術会議主催学術フォーラム「欧州とアジアの地域紛争をめぐる平和的解決と、世界経済の行方ー学術共同の観点からー」を令和5年7月9日（日）に日本学術会議講堂（オンライン併用）にて開催した。

第5 国際会議の開催

- 1 共同主催国際会議「第1回国際研究皮膚科学会」を令和5年5月10日（水）～13日（土）に東京都にて開催した。
- 2 共同主催国際会議「国際がんサポーターズケア学会2023」を令和5年6月22日（木）～25日（日）に奈良県にて開催した。
- 3 共同主催国際会議「第22回国際自動制御連盟世界大会」を令和5年7月8日（土）～14日（金）に神奈川県にて開催した。

第6 加入国際学術団体の見直し

- 1 国際社会科学団体連盟（IFSSO）の脱退を決定した。

第7 日本学術地区会議

- 1 中部地区会議主催 学術講演会「食と健康の最前線」を令和5年7月7日（金）に福井県（オンライン併用）にて開催した。

第8 会員の辞職及び任命

- 1 会員の辞職
小林潔司会員が、令和5年6月30日付で定年退職した。

第9 慶弔等

1 慶事

・令和5年春の褒章受章者 令和5年4月29日公表

【紫綬褒章】

安達 千波矢（連携会員（第23-25期））
井田 良（元会員（第20-22期）、元連携会員（第23-24期））
岡部 徹（連携会員（第24-25期））
苅谷 剛彦（元連携会員（第21-22期））
高津 聖志（元連携会員（第20-23期））
茶谷 直人（会員（第24-25期）、元連携会員（第22-23期））
寺北 明久（連携会員（第23-26期））
松田 道行（会員（第24-25期）、元連携会員（第22-23期））
三浦 篤（元連携会員（第23-24期））

・令和5年春の叙勲受章者 令和5年4月29日公表

【旭日中綬章】

長谷川 眞理子（元連携会員（第20-24期））

【瑞宝重光章】

有川 節夫（元連携会員（第20-21期））
安藤 恒也（元連携会員（第20-23期））
倉根 一郎（連携会員（第24-25期））
滝澤 正（元連携会員（第20-23期））
中橋 和博（元連携会員（第20-24期））
樋口 輝彦（元会員（第21-22期）、元連携会員（第20期、第23-24期））
村上 周三（元会員（第20-21期）、元連携会員（第22-23期））

【瑞宝中綬章】

赤阪 清隆（元連携会員（第24期））
池田 眞朗（元会員（第20-22期）、元連携会員（第23-24期））
乾 賢一（元連携会員（第20-23期））
圓川 隆夫（元連携会員（第20-22期））
大鉢 忠（元連携会員（第21期））
小笠原 直毅（元連携会員（第22-23期））

河野 正憲（元会員（第 21-22 期）、元連携会員（第 20 期、第 23-24 期））
小林 重敬（元連携会員（第 20-21 期））
近藤 豊（元連携会員（第 21 期））
平 朝彦（元会員（第 20-21 期）、元連携会員（第 22-23 期））
林 良博（元会員（第 20-21 期）、元連携会員（第 22-23 期））
原 慶明（元連携会員（第 20-21 期））
福住 俊一（元連携会員（第 21-24 期））
丸山 茂徳（元連携会員（第 21-22 期））
緑川 光正（連携会員（第 22-25 期））
宮澤 陽夫（元連携会員（第 21-24 期））
森脇 俊道（元連携会員（第 20-21 期））
八木 聰明（元連携会員（第 20-23 期））
渡邊 誠（元会員（第 20-21 期）、元連携会員（第 22-23 期））

第 10 その他

事務局人事異動

事務局長

旧：三上 明輝

新：相川 哲也

（令和 5 年 7 月 4 日付）



2023年7月16日

2023年4月から2023年7月の活動報告

第188回総会
第25期 日本学術会議会長
梶田 隆章

主な活動

- 日本学術会議の在り方に関する政府の検討への対応
- 会員候補者及び連携会員候補者の選考
- 意思の表出の発出、学術フォーラムの開催、国際会議の開催
(詳細は活動状況報告資料参照)
- その他の活動
- 会長・副会長によるメッセージ動画の作成
- 記者会見一覧

- (参考) 第26期における継続的な活動を実施するための加盟国際学術団体に対応する分科会・小委員会の設置について

日本学術会議の在り方に関する政府の検討への対応

令和5年

- 4月18日 第187回総会において、
勧告「日本学術会議のあり方の見直しについて」
声明「説明」ではなく「対話」を、「拙速な法改正」ではなく「開かれた協議の場」を」
を取りまとめ、公表
- 4月27日 会長メッセージ「学術の発展とより良い役割発揮のために、広く関係者を交えた開かれた協議の場を」の公表
※日本学術会議法改正案の通常国会への提出が見送られ、丁寧に議論し、早期に結論を得るとされたことを受けて、広く学術会議に関わる関係者を交えた開かれた協議の場を作ることを求めるもの。
- 6月15日 幹事会において、内閣府から「日本学術会議の在り方の見直しに関する今後の進め方」について説明・質疑
「日本学術会議が「開かれた協議の場」に求めるもの(会長覚書)」の公表

その他の活動

令和5年

- 4月13日 各国アカデミー調査(アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス)を公表
- 5月25日 各国アカデミー調査(調査項目の追加、日本、イタリア、カナダ、インド、韓国、中国、ロシアを追加)を公表
- 6月16日 会長談話「学術と社会におけるジェンダー平等の実現に向けて」を公表
※G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合に向けて、G7エンゲージメントグループ(Civil7・Pride7・Think7・Women7・Youth7)が取りまとめた共同声明「Reigniting the 2030 Agenda: Achieving Gender Equality Now and For Future Generations」を受けて、学術及び社会におけるジェンダー平等の実現に向けた努力を続ける旨を明らかにするもの。
- 7月13日 幹事会において「第26期における継続的な活動を実施するための加盟国際学術団体に対応する分科会・小委員会の設置について」を決定(参考2参照)

会長・副会長によるメッセージ動画の作成

- 梶田会長「対話の始まりとして」(令和5年1月26日)
- 梶田会長「新たな信頼関係への一步」(令和5年5月26日)
- 望月副会長「より開かれた会員選考」(令和5年6月30日)



記者会見一覧

年月日	主な会見内容
令和5年4月18日	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 日本学術会議第187回総会資料 ➤ 勧告 日本学術会議のあり方の見直しについて ➤ 声明 「説明」ではなく「対話」を、「拙速な法改正」ではなく「開かれた協議の場」を ➤ 米英独仏アカデミー調査 ➤ 梶田会長からG7各国のアカデミーの会長、国際学術会議(ISC)の会長宛てのレター及び米、独、仏、伊のアカデミー会長からの返信 ➤ 世界の自然科学系ノーベル賞受賞者による声明 ➤ 直近の学術フォーラム・公開シンポジウム等の開催予定について ➤ 日本学術会議の在り方についての方針に対する声明一覧
令和5年5月25日	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 各国アカデミー調査 ➤ 直近の学術フォーラム・公開シンポジウム等の開催予定について ➤ 日本学術会議の在り方についての方針に対する声明一覧
令和5年6月29日	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 日本学術会議が「開かれた協議の場」に求めるもの(会長覚書) ➤ 「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」に掲げた具体的な取組事項の進捗状況 ➤ 直近の学術フォーラム・公開シンポジウム等の開催予定について ➤ 日本学術会議の在り方についての方針に対する声明一覧

(参考)

加盟国際学術団体に関する継続的な活動について

I. 趣旨・目的

- ✓ 加盟国際学術団体に対応する分科会・小委員会に限り、継続的な活動を実施するため、第26期期首における設置にあたって特段の措置を講じる。
- ✓ 第25期の満了に伴い、現在設置されている分科会・小委員会は廃止されることから、期替わりにおいても継続的な活動を実施するための対応(第26期当初からの分科会・小委員会の設置)をとる必要がある。
- ✓ 期首に分科会を設置する場合には、6か月間の暫定設置(延長可)とすることが通例であるが、継続的な活動を実施するという本対応の趣旨に鑑み、3年間(第26期中)設置する。

II. 第25期から第26期における対応

1. 国際委員会のみ置く分科会・小委員会の場合 *※国際委員会の単管のもの*

- ① 第26期の分科会・小委員会の設置を第25期中に幹事会において決定
※令和5年10月1日(第26期期首)から施行
- ② 設置期間は第26期中(令和5年10月1日～令和8年9月30日)
- ③ 構成員は第26期の幹事会において決定(=分科会・小委員会の設置手続完了)

加盟国際学術団体に関する継続的な活動について

2. 国際委員会及び部又は分野別委員会に置く分科会・小委員会の場合

※国際委員会と部又は分野別委員会の共管のもの(参考参照)

(1) 国際委員会に置く分科会・小委員会

① 第26期の分科会・小委員会の設置を第25期中に幹事会において決定

※令和5年10月1日(第26期期首)から施行

②・③ 対応する国際学術団体を同じくする部又は分野別委員会に置かれている分科会・小委員会【下記(2)】が実質を担っていることから、当該分科会・小委員会【下記(2)】について設置期間及び構成員が決定することにより、国際委員会に置く分科会・小委員会の設置手続が完了する。

(2) 部又は分野別委員会に置く分科会・小委員会

① 第26期の分科会・小委員会の設置を第25期中に幹事会において決定

※令和5年10月1日(第26期期首)から施行

② 設置期間は第26期中(令和5年10月1日～令和8年9月30日)

③ 構成員は第26期の幹事会において決定(=分科会・小委員会の設置手続完了)

(参考) 対象となる部又は分野別委員会に置かれる分科会・小委員会

第一部国際協力分科会

史学委員会国際歴史学会議等分科会

史学委員会IUHPST分科会

経済学委員会IEA分科会

経済学委員会IEHA分科会

基礎生物学委員会IUBS分科会

基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同IUPAB分科会

基礎生物学委員会・農学委員会・食料科学委員会・基礎医学委員会・臨床医学委員会合同IUMS分科会

農学委員会・食料科学委員会合同CIGR分科会

農学委員会・食料科学委員会合同IUSS分科会

農学委員会・食料科学委員会合同PSA分科会

農学委員会・食料科学委員会・健康・生活科学委員会合同IUNS分科会

基礎医学委員会ICLAS分科会

基礎医学委員会IUBMB分科会

基礎医学委員会IUPHAR分科会

基礎医学委員会IUPS分科会

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同FE・WCRP合同分科会

数理科学委員会IMU分科会

物理学委員会IAU分科会

物理学委員会・総合工学委員会合同IUPAP分科会

地球惑星科学委員会IGU分科会

地球惑星科学委員会IGU分科会ICA小委員会

地球惑星科学委員会IUGG分科会

地球惑星科学委員会IUGS分科会

地球惑星科学委員会SCOR分科会

地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会COSPAR小委員会

地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会IASC小委員会

地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会INQUA小委員会

地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会IMA小委員会

地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会SCAR小委員会

地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会SCOSTEP—STPP小委員会

情報学委員会国際サイエンスデータ分科会

化学委員会IUCr分科会

化学委員会IUPAC分科会

総合工学委員会ICO分科会

総合工学委員会・電気電子工学委員会合同IFAC分科会

機械工学委員会・総合工学委員会・土木工学・建築学委員会合同

理論応用力学分科会IUTAM・国際連携小委員会

電気電子工学委員会URSI分科会

土木工学・建築学委員会・情報学委員会・総合工学委員会合同

WFEO分科会